

『真夏日到来。加田屋の水辺と古民家で涼もう。』

令和8年5月10日（日）

さいたま支部ペガサス分団

見沼自然公園は1994年平成6年に開園しました。面積は約11ha、東京ドームの約2.3倍です。東側を見沼代用水東縁、西側を加田屋川が流れる見沼田んぼの低地にあります。東に隣接するさぎ山記念公園は、野田の鷺山と呼ばれるサギの集団営巣地がありました。江戸時代中頃、見沼田んぼができたことでたくさんのサギが集まり、江戸からも多くの人が見物に来たそうです。1938年昭和13年には国の天然記念物に指定される程でした。しかし環境の変化でサギが減り、1984年昭和59年には指定が解除されました。

見沼自然公園がある低地は見沼田んぼの一部です。芝川の支流の加田屋川沿いに広がる一帯にあります。川の名前になっている加田屋は、江戸時代の坂東助右エ門尚重という人物に由来しています。1675年延宝3年紀伊の国加田屋村出身の坂東助右エ門尚重は、この地にあった見沼の一部の入江沼を干拓し新田開発を行いました。しかし沼の水を利用して下流の人々の反発で、1718年享保3年、新田はもとの溜池に戻されました。しかし当時の将軍徳川吉宗が新田開発の政策を推進していたことから、3代目当主の坂東助右エ門尚常により、1728年享保13年、再び新田開発が行われました。新しくできた新田は、坂東家の屋号をとって加田屋新田と名づけられました。

加田屋新田の西側の台地上には、1857年安政4年に建てられた坂東家の住宅が、さいたま市指定有形文化財見沼くらしっく館として公開されています。

1 期日 令和8年5月10日（日）

☂ 雨天、交通事情の混乱があった場合等は中止します。

2 集合 見沼自然公園駐車場近くのエントランス広場 午前9時30分

※ 隣接するさぎ山記念公園と間違えないようにご注意ください。

3 解散 見沼自然公園駐車場近くのエントランス広場 午前12時30分頃

4 自然観察ウォーキング 全行程約2.1km

見沼自然公園（芝生広場、修景池、自然観察園）→見沼くらしっく館→見沼自然公園

※ 天候等により、当日になって行程を変更することもあります。

5 持ち物

クリップボードまたは探検バック、セロハンテープ、帽子、水分補給用の飲料、雨具、
持っていれば双眼鏡

6 その他

- ・ ペガサス分団活動では資料を用意する関係上、参加人数を把握するために事前の申し込みをお願いしています。
- ・ 小学4年生以下の児童には、保護者の方の付き添いをお願いいたします。
- ・ 団体行動です。1人で行動してはいけません。用事がある時はリーダーと一緒に行ってまいりましょう。
- ・ 危険な物（刃物・ライター・モデルガン・薬品類など）、周囲に迷惑をかけやすいもの（大きな音のするものなど）、ペット等は持ってきたり連れてきたりしないでください。
- ・ 天候、交通事情、参加者の健康状態等で行程を変更することもあります。